



特集
大江町の上水道

息を合わせ放水!!

8月4日、河北町サハトベにばなで西村山支部消防操法大会が開催され、本町から小型ポンプの部に第3分団第2部と第4分団第3部が出場しました。操法は団員同士の動きを合わせ、いかに早く正確に放水できるかが求められます。出場団員は1カ月以上にわたる訓練の成果を存分に発揮し、息の合った見事な操法を披露してくれました。(10ページに関連記事)

平成25年

9

No.631

特集

私たちの生活を支える 大江町の上水道

水は、飲料・風呂・炊事・洗濯など、私たちの生活を支える重要な資源です。平成24年度大江町上水道事業の給水状況によると、1人1日の平均給水量は415ℓ（生活用水ほか、営業や工業用水を含む）で1年間に換算すると1人当たり約15万1000ℓ、これは幅12m×長さ25m×深さ1.2mの25mプール約半分を給水していることとなります。私たちが日々生活していくためには、いかに大量の水を必要としているかが分かります。

7月18日と22日、山形県内を記録的な豪雨が襲い、町に大量の水を供給している村山広域水道（以下村広水）の給水が停止したことで、町では2度の断水が発生しました。しかし、同じ町内でも断水の影響を受けなかった地区もあります。これらの違いはなぜ生まれたのでしょうか？今回は町の水道水はどのように家庭まで送り届けられるのかをお伝えします。

町内にある3種類の水道

水道は、水道法に基づき給水人口によって異なる名称で呼ばれています。一般的に給水人口が5001人以上のものを上水道、101人以上5000人以下を簡易水道事業、50人以上100人以下のものは飲料水供給施設と呼ばれています。現在、町内には左沢地区周辺および県道大江西川線沿いに上水道1箇所、用地区に簡易水道1箇所、黒森区と道海区に飲料水供給施設がそれぞれ1箇所ずつ設置されています。なお木の沢区は寒河江市水道給水区域になっています。

これらの水道は水源と呼ばれるその地域を流れる川や湧水から、水道水の元となる原水を取水することによって成り立っています。

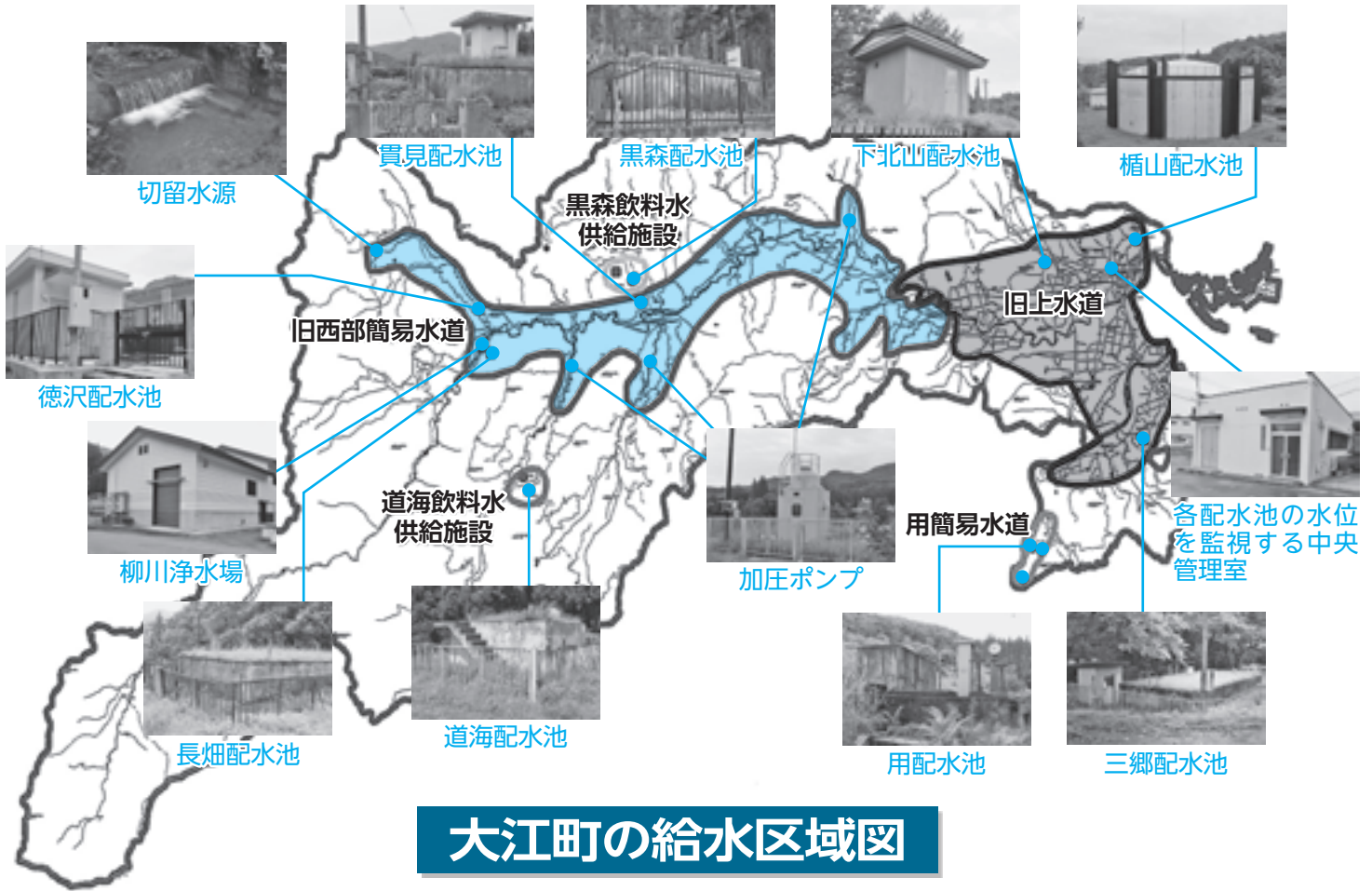
経済活動に欠かせない水、給水量は年々増加

平成24年度上水道事業の用途別使用水量（次ページのグラフ）によると年間使用水量は約131万9000³m³で、工業用水は約59万³m³、家庭用水が約54万³m³、営業用水が約13万6000³m³となっています。

工業用水は製造業などの産業活動に供給される水で、原料用、製品処理・洗浄用、ボイラー用、冷却用などに使用されるものです。家庭用水は日々私たちが暮らしている中で、営業用水は事務所、旅館、飲食店などで使用される水です。その他の部分には官公署や学校などで使用される水が含まれています。

1人当たりの給水量をみると年々増加しており、平成12年には260ℓだった給水量が平成24年にはその1.6倍

■ 特集 大江町の上水道



大江町の給水区域図

の415ℓまで上昇しています。主な理由として工業用水の増加などが考えられます。

2種類の配水系統で構成される上水道区域

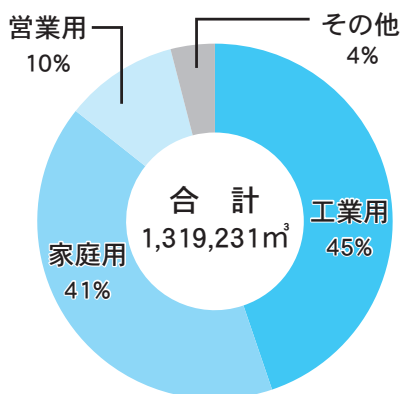
上水道は、安全かつ安定した給水を図るため、それまでの上水道区域と西部簡易水道区域が平成19年4月に経営統合され、現在に至ります。そのため現在は同じ上水道給水区域内でも、顔好区内にある「顔好橋」を境として、東側の旧上水道区域と西側の旧西部簡易水道区域では配水系統が異なっています。

①旧上水道区域

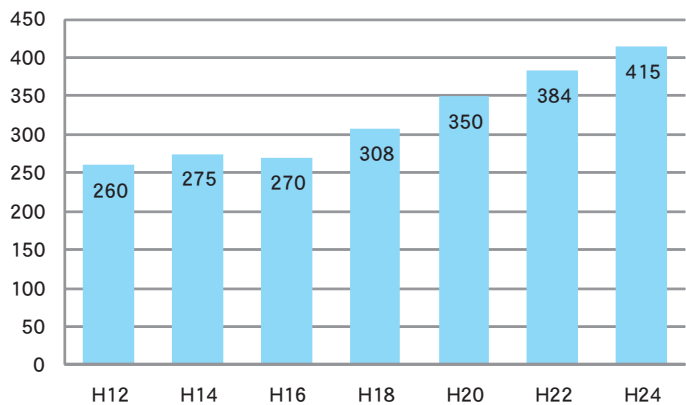
昭和37年に月布川を水源として経営認可を受け、昭和40年に給水を開始。その後給水量の増加を図るため昭和57年まで2度の拡張工事がおこなわれました。昭和59年より寒河江ダムを水源とする村山広域水道用水供給事業が開始されると、今後さらなる増加が予想される水道使用量に対応するため、旧上水道区域は村広水から全面受水することとなり、現在に至ります。

村広水から浄化されてきた水は本町北東部の楯山配水池で受水され、そこから三郷配水池、下北山配水池に分けられ各家庭に給水されます。全面受水の旧上水道区域は7月18、22日の村広水の給水停止で最も大きな影響を受けました。また、平成24年度上水道事業の使

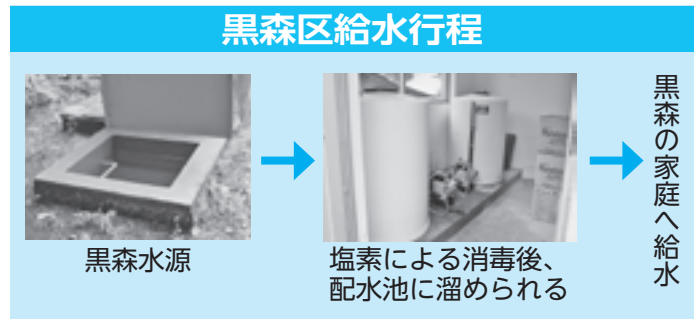
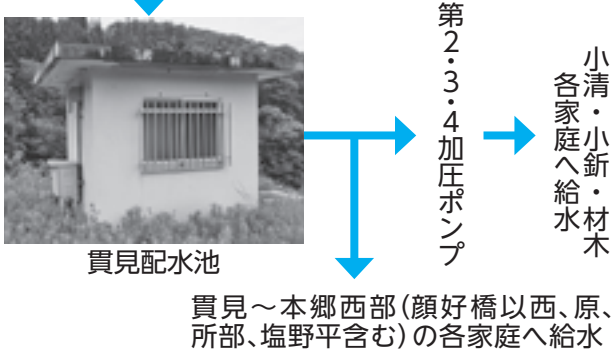
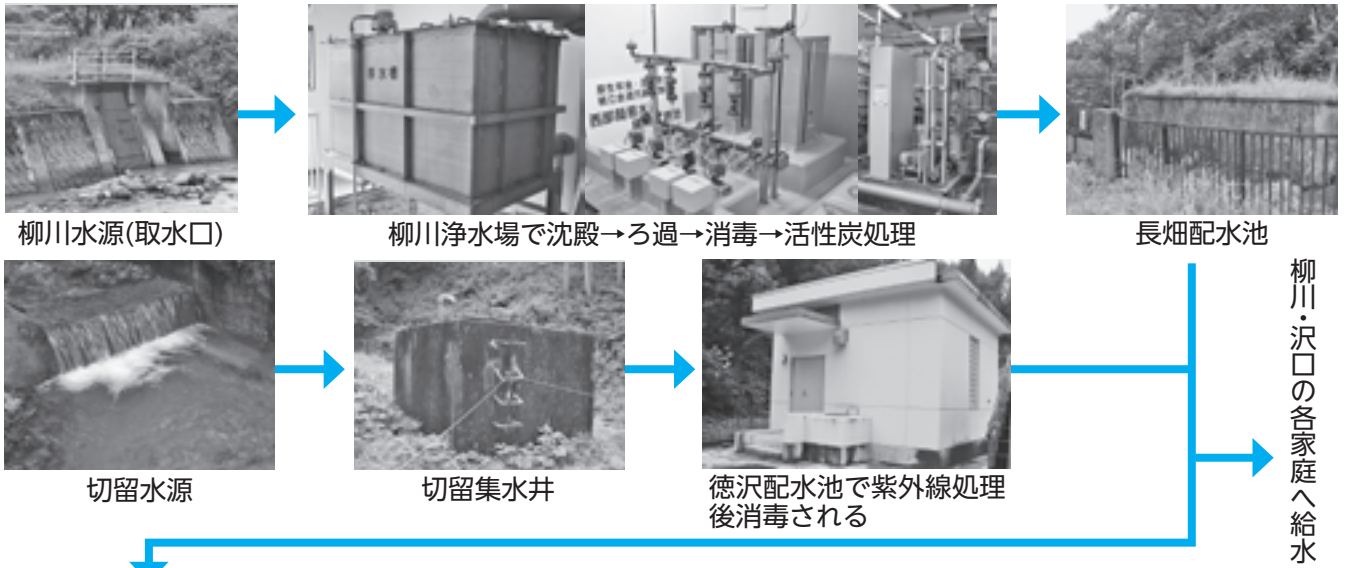
平成24年度用途別使用水量



上水道区域1人1日あたりの平均給水量の推移(ℓ)



旧西部簡易水道区域給水行程



貫見～本郷西部(顔好橋以西、原、所部、塩野平含む)の各家庭へ給水

7月18日の豪雨では、切留水源と徳沢配水池の間にある導水管が土砂崩れにより寸断され、さらに柳川浄水場の膜ろ過装置に目詰まりが発生

②旧西部簡易水道区域

昭和52年に柳川地内月布川右岸の柳川水源から取水を開始しました。その後、川の水位の低下を理由に切留水源に切り替え、さらに平成9年には安定かつより多くの取水量を確保するために、柳川地内月布川の従来とは異なる場所に水源として取水口が建設(柳川浄水場もあわせて建設)されました。現在、旧西部簡易水道区域には切留水源、柳川水源の2つの水源系統があります。

切留水源系統は金華山麓の湧水を取水し、高低差を使用して徳沢配水池へ導水され、滅菌室で紫外線処理および消毒がおこなわれます。

柳川水源系統は月布川の取水口より柳川浄水場へ導水され、そこで沈殿・ろ過・消毒の3段階の処理がおこなわれます。ろ過の方法はさまざまありますが、柳川浄水場では膜ろ過法を採用しています。これは微細な孔をもつ膜に水を通し、原水中の不純物を分離除去する方法です。浄化された水はその後各配水池、加圧ポンプを経由し各家庭に給水されます。

村山広域水道

寒河江ダム(西川町)の完成に合わせて、村山地方の市町は今後増加が予想される給水量に対応するために、県に村山地方一帯に給水できる浄水場の整備を要望しました。これを受け県は昭和59年に西川町に浄水場を整備し、村山広域水道用水供給事業を開始(本格給水は平成3年)しました。

事業の中心となる西川浄水場は、本町含め村山地方の6市6町に1日に最大で12万2500m³を給水できる県内最大の浄水場です。

施設内では寒河江川から取水した原水に、凝集剤(ポリ塩化アルミニウム)を加え水中の泥などの浮遊物を

湧水を利用した3つの水道区域

用区・黒森区・道海区にある水道は、湧水を水源にしています。

湧水は山に降った雨が地中で時間をかけてろ過されたものなので、清潔かつ降水に影響されず、取水に適していると考えられています。そのため、取水後は各地区の滅菌室で塩素消毒のみおこなわれ、その後配水池から各家庭へ送水されます。

湧水の利用かつ水道施設に被害がなかったため、7月18日・22日の豪雨でも3地区は断水せずに済みました。

したため一時区域内で断水が発生しました。しかし、復旧後は通常通り運用され、再び豪雨が襲った7月22日には断水することはありませんでした。

村山広域水道給水行程



取水堰…寒河江川をせき止め原水を取水する



沈砂池…原水に含まれる砂などを沈殿させ除去



西川浄水場…導水トンネルを通り西川浄水場へ



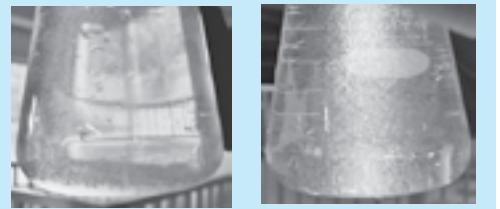
薬品混和地…凝集剤を入れかき混ぜる



傾斜版沈殿池…泥の粒を沈殿させ除去し、きれいな上澄み部分を抽出する



フロック形成池…ゆっくりかき混ぜ大きな泥の粒を作っていく



凝集剤投入直後の原水(右)、水中の泥が白く固まり、時間が経つと沈殿する(左)



急速ろ過池…細かい砂と大きな砂利を通して更に浄化

消毒後、施設内の浄水池に貯蔵



送水管を通して楯山配水池へ給水

左沢周辺の各家庭へ給水

三郷配水池 → 三郷周辺の各家庭へ

下北山配水池 → 本郷東部(顔好橋より東)の各家庭へ

望山加圧ポンプ場 → 望山以西の家庭へ

凝集・沈殿・除去後、砂と砂利でろ過され、塩素消毒を経て各市町に給水されます。

通常、寒河江川から取水される原水の濁度(水の濁りの程度)は10前後。雨天時は支流から濁った川水が流れ込むため数百度まで上昇することもあります。その場合でも寒河江ダムが溜めているきれいな水の放流にともなつて、濁りが薄まるので、2〜3時間で浄水処理できる状態になります。

7月18日の豪雨では、寒河江ダムに今までにない量の土砂が流入しました。そのため川の水を薄めることができず、朝6時から原水の濁度が急上昇し11時には給水停止を余儀なくされました。13時には濁度2996を記録し、その後も高い状態が約30時間続きました。7月19日10時、濁度が処理可能な目安である300程度まで低下したため給水を再開しましたが、その時は機械での監視に限界があったため、職員が手作業で確認しながら処理にあたりました。現在も寒河江ダムの濁りは収まっておらず、取材にうかがった当日(8月26日)も濁度は100程度ありました。

50項目におよぶ水質基準

水道水の水質基準は水道法第4条に基づき細かく設定されており、基準項目は最新の科学的知見を踏まえて逐次改正がおこなわれています。現在には病原性微生物、重金属、濁度など

50項目で管理され、水道水はこの全ての項目で基準値以下になることが義務づけられています。

町では水源別に家庭で採取した水道水を専門の業者に委託し、毎月1回水質チェックをおこなっています。西川浄水場でも水質チェックをおこない水質の維持を図っています。

断水を受けて

西川浄水場では、今後も浄化の過程を見直していき、少しでも給水量が増えるよう改善していく予定です。ただし、凝集剤による泥の沈殿量は、施設の容量によって決まってくるため、7月18日のような豪雨の時も通常と同じ給水量を維持するためには、施設を抜本的に見直さない限り限界があります。また、仮に今回の豪雨に耐えられる浄水場を整備するのであれば、それは水道料金の値上げにつながる可能性もあります。

天災は人の力で防ぐことができません。そのため万が一断水になった場合を想定し、給水車の配備や自己水源区域の拡大など、被害を最小限に抑える取り組みが必要です。

水道水の多くを村広水に依存している本町も、今回の断水を受け、非常に時に使用する給水タンクや自己水源区域の拡張をすすめていく予定です。自己水源区域の拡張については、現在旧上水道区域である顔好から梨の木原まで、切留系の水道水の通水試験を9月中におこなう予定です。

大江町 婚活チューター制度 スタート



厚生労働省が発表した2040年の人口推移では、山形県全体で約3割が減少し、大江町の人口は約5千8百人に減少するという大変厳しい予測が示されました。人口減少・少子化は労働人口の減少、現役世代の負担増、地域コミュニティ機能の弱体化など社会に大きな影響を与えてまいります。

このような中、町では人口減少・少子化の原因の一つである未婚化・晩婚化の対策として、結婚を希望する方に、出会いの場の紹介や結婚・恋愛についてアドバイスをおこなう「婚活チューター制度」を開始しました。

ここでは大江町婚活チューター制度の概要と「県内の婚活事情」仲人としての心構え」と題して、6月11日に開かれたNPO法人元気netかほくの婚活コーディネーターの講演の要旨をお伝えします。

30代前半男性の半数以上が未婚

平成22年度の町に住む30歳以上59歳までの未婚者の状況は次項の表のとおりです。この表からわかるように、10年前と比較して未婚者の割合は男女ともに増加しており、特に30歳〜34歳の男性では51.5%と大変高くなっています。また、10年前の40歳代の未婚者数と10年後の50歳代の未婚者数がほぼ同じであることから、一定の年齢を過ぎると、その後もなかなか結婚に至らなくなってしまうことがわかります。

積極的に動けない若者の増加

「結婚と出産に関する全国調査」をみると、18〜34歳の男女とも9割が「いずれ結婚するつもり」と回答して

います。これだけ希望していても未婚化・晩婚化が進行しているのは、社会環境の変化やライフスタイルの多

様化のほか、「恋愛や結婚するために積極的に行動できない」という若者が増えていることもあげられます。

特に「イベントなどには参加するがなかなかうまくいかない」「そもそも異性とどのように話せばいいかわからない」という人に対して、出会いの場の提供といった単発的なイベントをおこなったとしても、成婚につながらない場合が多くあります。

現代の結婚事情に合わせた制度

今回はじまる婚活チューター制度は、このような現代の結婚事情にあわせたものです。チューターは、婚活イベントへの参加を呼びかけたり、

婚活チューターの必要性

昨年度県内で開催された婚活イベントには、合計約9千人が参加し、その中から300組のカップルが誕生しました。しかしそのほとんどが成婚につながっていません。なぜなら、いざ付き合っても、会話、デートの仕方、服装などどう行動したらよいか分からない方が多いからです。さらに男女とも年々理想が高くなる傾向にあり、付き合っても結婚まで踏み切れないことも理由として考えられます。

出会いの場を紹介するだけでなく、結婚や恋愛の悩み相談なども受け持つ婚活チューターは未婚・晩婚化が進む現代の結婚事情において必要な存在です。また一人でも多く結婚してもらうため、活動するチューターの姿は結婚を希望する方々への力強いメッセージにもなるのではないのでしょうか。



NPO法人元気netかほく
婚活コーディネーター
小笠原 学氏

大江町に住む 30 歳以上の未婚者数

年 代	平成 12 年					平成 22 年				
	総数 (人)	うち未婚者 (人)	全体割合 (%)	男性割合 (%)	女性割合 (%)	総数 (人)	うち未婚者 (人)	全体割合 (%)	男性割合 (%)	女性割合 (%)
30～34 歳	437	128	29.3	40.2	18.3	415	164	39.5	51.5	26.0
35～39 歳	574	93	16.2	27.5	5.4	416	108	26	38.5	13.7
40～44 歳	647	65	18.5	15.5	4.2	437	81	18.5	26.2	10.1
45～49 歳	775	80	10	16.9	2.5	559	73	13.1	21.3	5.0
50～54 歳	803	61	7.6	10.4	4.0	616	61	9.9	15.7	4.0
55～59 歳	526	14	2.7	4.3	1.1	747	72	9.6	15.6	2.6
合 計	3,762	441	14.05	19.1	5.9	3,190	559	19.43	28.1	10.2

【参考】平成 12、22 年度国勢調査

結婚に対する悩みや相談にのったりするなどの手助けをおこない、結婚に向けて一歩前に踏み出せるように背中を押してあげる役割を担っています。

婚活チューター制度について

① チューターとは

結婚を希望する人へ婚活を順調に進めるための手助けや手伝いをする人のことです。また、ここでは結婚を希望する人のことを「婚活生」と呼びます。

② チューターの主な役割

- (a) 婚活生の発掘
- (b) 婚活生にイベントなどの情報提供や参加の促し
- (c) 結婚や恋愛に関する悩み相談
- (d) 村山地域のチューターさんとの交流

③ チューターの条件

チューターは、大江町内に住むおおむね 30 歳以上の既婚者であれば可能です。特に専門の資格が必要というわけではありませんので、条件を満たしている方であれば、誰でもチューターになることができます。

④ チューターの期間

登録後から翌年の 3 月までです。ただし、事業実施期間中で担当する婚活生を成婚させた場合は、その時

点で担当していた婚活生への支援は終了となります。

⑤ 謝金など

活動をおこなった場合には、その活動費として謝金が支給されます。また、事業実施期間中に担当する婚活生を成婚させた場合、成功報酬金として 10 万円を受け取ることもできます。

⑥ 活動時間の目安

婚活生の状態に合わせて無理のない範囲で活動することになります。

婚活チューター募集

町では婚活チューターを募集しています。結婚を希望する人の悩みを自らの体験を通してサポートできる方はぜひ登録してください。

※お問い合わせは、政策推進課政策推進係 ☎(62) 2118 まで



▲婚活チューター制度説明会の様子

チューターとしての心構え

現在のお見合いは、親族は立ち会わずに本人同士を会わせる形式が主流で、あくまでも結婚、出会いの一手段と認識されています。その中でチューターは、実際や結婚の後押し、相談役など個人対個人の出会いから結婚に至るまでのさまざまなサポートをすることができると考えられます。

チューターとしての心構えは①個人情報や他人に洩らさない②本人としっかり話し、どうしても譲れない条件を聞く③結婚する気になったタイミングを逃さないなどです。

また、お互いに謙虚な心を持たせることも大事です。自分だけが妥協するものではありません。相手にとっても自分分は妥当な結婚相手なのかという立場で考えることも大切です。そうすれば、自然とお互いが譲り合い理解しあえる関係が築いていけると思います。



NPO法人元気netかほく
婚活コーディネーター
佐藤 郁子氏



① 8/10 小倉交流館裏を流れる南堰の水路を利用しておこなわれた魚つかみ取り大会(十八才区)
 ② 8/15 灯ろう流しには左沢高校の生徒や新成人がボランティアで参加
 ③ 8/15 お盆の期間中も歴史民俗資料館に親んでもらおうと、今年初めて開催された添釜そえがま



水郷 大江 夏まつり

大江町最大の行事である、水郷大江夏まつり大会が8月10日から15日まで6日間にわたり開催されました。

7月18日に発生した豪雨災害から、あまり時間が経たない中での開催でしたが、今年も暑い夏をさらに熱くする各種イベントが、町内各地で開催されました。

8月15日には、夏まつり大会のメインイベントであり県内最古91年の歴史を持つ、灯ろう流し花火大会が開催されました。会場となった最上川河畔周辺などには約7万5千人もの観客が詰め掛け、3か所から打ち上げられる約4,000発の花火と川面を彩る1,600個が織りなす音と光のショーを満喫しました。



④ 8/15 71の露店が並んだ原町の露店市(原町通り)
 ⑤ 8/14 青竹ちょうちん祭りの下おこなわれた納涼盆踊り大会、大江アスリートクラブによるダンスも披露された(写真⑥)(中央通り商店街)
 ⑦大江町ならではの絵柄と優しい光が魅力の水郷灯ろうまつり(8区)
 ⑧ 8/15 花火大会には吉村知事も駆けつけ、”豪雨”を乗り越えて開催される大会に応援の言葉をいただきました





豪雨に負けず
力強く打ち上がる

花火

8/4 操作の正確さ早さを競い合う

～山形県消防協会西村山支部消防操法大会～

消火活動までの操作を競い合う、山形県消防協会西村山支部消防操法大会が8月4日、河北町サハトべにばなを会場に開催されました。

大会には、西村山郡の各市町消防団から10チームが出場。小型ポンプの始動から、ホースを伸ばし貯水槽から水をくみ上げて、火元に見立てた的に放水するまでのタイムと正確さが競われました。

本町からは、第3分団第2部と第4分団第3部の2チームが出場しました。各分団とも1カ月以上にわたる厳しい早朝訓練の成果を存分に発揮し、共に優良賞を受賞しました。



出場者

第3分団第2部 優良賞	第4分団第3部 優良賞
指揮者 小野友和(諏訪原)	指揮者 石坂康平(柳川平)
1番員 小國優介(諏訪原)	1番員 大泉優介(月 布)
2番員 林 貴範(上北山)	2番員 笠原英司(柳川平)
3番員 松田 憲(所 部)	3番員 富樫俊介(柳川平)
補 欠 渡辺一樹(塩野平)	補 欠 大場秀紀(柳川平)
補 欠 阿部新伍(所 部)	補 欠 大泉久俊(月 布)



8/4 蔵王を駆け抜けタスキをつなぐ

～第16回山形県ジュニア駅伝競走大会～

急な勾配が数多く点在する蔵王坊平クロスカントリーコースを舞台に、県内各市町村の小中学生の代表者がタスキをつなぐ、第16回蔵王坊平ジュニア駅伝競走大会が8月4日に開催されました。

本町からは小学校5年生から中学校3年生までの16名が出場し、県内のライバルたちと負けじとアップダウンの激しいコースに果敢に挑戦していきました。

子どもたちはこの日のために放課後を利用して約1か月の練習を積んできました。走りきった後には「練習は辛かったけど大会で役に立った」「もっとタイムが伸びると思う」「また走りたい」など自分の走りを振り返り、次の大会へ意欲をみせていました。

8/11 怖い妖怪を楽しく表現

～やながわ自然ファクトリー2013～

やながわ自然ファクトリー2013が8月11日、旧本郷西小学校で開催されました。

この取り組みは、創作活動を通じて町内小学生たちに“ものづくり”の楽しさを知ってもらおうと、東北芸術工科大学の学生が企画しており、今回で25回目となります。

今回の創作テーマは「やなバケ妖怪パレード」。さまざまな妖怪が夜に集まり行列を組んで徘徊する「百鬼夜行」をパレード風に、にぎやかで楽しく表現するというものです。子どもたちは案を出しあいながら、葉っぱや枝、ダンボールなどを駆使して妖怪の衣装や楽器を作りました。

完成後は実際にその衣装を着て小学校内でパレードをおこない、子どもたちは手製の楽器を鳴らしながら自分が思い描いた妖怪になりきっていました。





8/14 新成人、喜び分かち合う

～平成25年度大江町成人式～

平成25年度大江町成人式が8月14日、ふれあい会館を会場に開催されました。今年新成人になったのは、平成4年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた110人で、そのうち86名が出席しました。

式典では、新成人代表の村山美沙姫さん（月が丘区）が「今年3月に最上川や私たちが子どもの頃から親しんできた街並みが、国の重要文化的景観に選定されました。これは地域の方が町を愛し大切にしてきたからです。これからは私たちが大江町を支えていく一員として町を愛し、大人として地域のために何ができるのか考え行動していきたい」とあいさつしました。

式典後におこなわれた“20歳のつどい”では、実行委員会で企画したゲームなどもおこなわれ、会場は楽しい雰囲気に包まれました。



▲後輩たちのために新成人一同が町へ本を寄贈

8/12 ルールを守り笑顔で帰省

～交通安全ふるさと笑顔帰省作戦～

お盆の帰省などで長距離運転の機会が多くなることから8月12日、国道287号沿いの「道の駅おおえ」「テルメ柏陵健康温泉館」で、ふるさと笑顔帰省作戦がおこなわれました。

活動には早朝より町交通安全対策協議会会員など35名が参加しました。道の駅では、交通安全母の会や安協女性部の方々が、「全席シートベルト着用」「燃料計を小まめに確認」などと書かれたチラシや反射タスキを配りドライバーへ交通事故防止を訴えました。



8/31 全力でぶつかりあった夏

～平成25年度大江町立大江中学校大運動会～

全校生徒が紅白2つの組に分かれ競い合う、大江中学校運動会が8月31日おこなわれました。

生徒たちは今年のスローガンである「ゆうおうまいしん勇往邁進～限界を突き破れ～」のもと、11種目で優勝をめざし熱戦を繰り広げました。

中でも全男子が、相手の陣地にある棒のてっぺんに配置された旗をいかに早く取るかを競う“棒倒し”では、攻める側も守る側も一歩も引かない激しいぶつかり合いを展開し、一瞬の隙をついた紅組が棒を倒しました。



◆わだいの交差点に掲載できなかった情報の一部は、町ホームページの「フォトおおえ」に写真を掲載していますのでご覧ください

大江町の花火と灯ろう流し、甲子園、高校野球。「日本の夏には知恵と体を使った芸術がある」と友人は分かったような事を言う。夜の空にシウルシウルと昇って、万華鏡の世界を造りだす花火、一球を追うしなやかな若い体の甲子園、なるほど「芸術」なのかもしれない。108の縫い目、牛の革、色は白、中にはゴムかコルク、144の重さ、周囲23センチの野球ボール。たった一個の白球で「投げる、打つ、拾う、走る...」の野球。テレビ放映の支えがあればこそ、という意見はあるが、多くの人が楽しめるスポーツだと思ふ。九人の選手、多くの応援団、県代表：一球に一喜一憂、涙と汗、守りと攻め、高校野球はドラマだらけだ。選手を動かし、チームをまとめ、高等学校を巻き込み、地域を呑み込み、県民までまとめしてしまう「一個の白い球」。白い球の魔力は何なのか。純粹、実直、無我夢中、爽快感：一つの球が日本全体を動かす野球は何とも素晴らしい。

今世界に求められている「白い一球」は、なんであるのか。みにくい戦争や、罪のない人々が苦しむことのないような、皆を一心不乱に、一生懸命、心からの応援ができる「白い球」はそばにあるのか。あっても気づかないのか、ないのか。赤い糸の108の縫い目で作られた「球」は何も言わない。「球」を打つ人、作る人、そのまた革を作る人。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見！ vol.05

金子家は原町通り沿い北側に位置し、敷地内には、通り沿いから門、住宅、土蔵、それを囲むように庭が配置されています。

宝暦7年（1757年）以前に平塩村（現在の寒河江市平塩）から移り住んだといわれており、近世は質屋やお湯屋などを営んでいたそうです。また木材に関する仕事にも深く関わっていたことから地元では“木屋”の屋号で呼ばれています。

通り沿いの門の両脇には長い板塀が続いており、門は切妻屋根の載るシンプルな構造ながら、しろこ葺き屋根と背後に見越しの松が立つ風格ある構造になっています。敷地内で最も古いとされる土蔵は天保5年竣工とされ、全体的に建物の高さが低めに建てられています。南側の開口部は正方形の小型のもので敷地内の他の建物とは異なる特徴をみせています。

金子家所蔵、文化14年（1817年）の質屋札と文政9年（1826年）の湯屋札▶



金子家



簡易マップ



ALT通信 マットの おおえ生活 No.32

Hello everyone. I hope your summer was filled with great memories too. With the start of the new semester, I'm reminded that education never rests. As part of my job I read a lot of education publications. Most of them are focused on teaching methods or activities for ESL students, but I also read about the future of education. Now many schools all over the world are using technology to offer better education to their students. As with everything, many older people fear change and do everything they can to avoid it. Of course eventually they will have to change and they'll join the rest of the world, but unfortunately by then they'll be at a great disadvantage when compared to the rest of the world. The true is change is constant in the world, everything changes and nothing remains the same. People who fear new things will be in fear their whole lives. Those who accept change as the natural way of things can look forward to every tomorrow.

皆さん、こんにちは。皆さんの夏休みもたくさんいい思い出ができたのではないのでしょうか。新学期に入って、教育の進化は休むことがないと改めて感じました。私は仕事の一つとして、いろいろな教育雑誌や本を読みます。その多くはESL(English as a Second Languageの略。英語を母語としない人にとっての英語教育)の教え方や文法の説明の仕方などですが、未来の教育についての本も読みます。現在世界中のたくさん学校のテクノロジーを使用し、生徒たちにとって今までよりずっと分かりやすい教え方ができています。しかしこれまでと違う方法に挑戦することを恐れる人々も多いので、反対する国も多いです。そんな国々でももちろんいつか他の国と同じ道を歩かなければならない時がきます。その時には、早めに挑戦した国より不利となります。実は世の中で「物事が変わる」ということはよくあることです。新しい事が怖いと思う人は、一生怖がります。変わることが自然と理解できる人は、明日を楽しみに進むことができます。

★このコーナーでは、小見在住のALT（外国語指導助手）マットさんが、日常生活で感じたことなどを伝えます。



▲iPadで最新のESLを勉強するマットさん

可能性を追求する大切さ

清野せいの
翔太しょうたさん
(22歳・藤田)

「現場の状況は刻一刻と変化しているので、いかに早く正確に分析するかが重要です」と話す清野さん、現在は山形大学工学部で分析化学の研究をしています。

川の水に含まれる有害物質をはじめ、水中に含まれるさまざまな物質を短時間かつ簡単に分析できる方法を模索するこの研究は、失敗の連続とのことです。先月は電極を使った分析方法を毎日夜遅くまで研究するも、なかなか成功せず、方法を変えながら何度も挑戦したそうです。

「大学院の先輩でも失敗の原因が分からなかったの、成功した時はとてもうれしかったし、いろいろな可能性を追求する大切さを感じました」と清野さん。

日頃の楽しみは研究の合間を縫って開く友人と飲み会の会とのことで、最近一番楽しかった飲み会とは尋ねたところ「お盆の時、里帰りした友人と久しぶりに会いお互いの近況を報告しました。みんな立場は違いますが将来の目標に向かって進んでいました。私もみんなに負けず、地元のためにできることを見つけて頑張りたいです」と話してくれました。



Youthful
トーク

● 短歌 ●

ひと夏の涼しくれた緑のカーテン残りしゴーヤは熟れて秋色
八月やあの日忘れじ玉音ぎよくおんはいちよう拝聴安堵と無念涙の終戦日
手間暇をかけて育てし甘い桃亡父にと友の携えて来る
吹く風は日増しに秋の匂ひして今朝桃色のコスモス咲きぬ
打ち上がる大輪の花孫達と一緒に眺めるしあわせ感じ
代々と寺に尽せし戒名の永林の字は特に光りし
眠らうとすればするほど寝付かれず時計の針は午前二時指す
戦争にかりたてられき老しわれ「二十四の瞳」を涙して見る
陽差しは木陰に憩い浮かびくる汗にまみれて田草取ること
菅井 妙子
堀 トヨエ
佐竹 麗子
長岡かづ子
佐竹 與鼓
伊藤 和子
斎藤 徳治
清野 伝蔵

● 俳句 ●

畑仕事友と二人で西瓜割る 林 忠逸
風吹いて社の森に蝉の声 菅井 妙子
夏の朝影鳥海の上に立つ 今井 茂樹
墓洗ふ背に爽やかな初秋風 鴨田富士夫
まなうらに大輪の花夏座敷 金子脩一郎
扇風機風音弱し子の眠り 秋元喜一郎
黙禱の一分八月十五日 熊谷 勉
泳ぎ終へ水が平らに戻りけり 舟山 三男
地滑りの道行く処暑の最上川 伊藤 啓泉

吟遊浪漫
ぎんゆうろまん

このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日（必着）まで役場総務課に作品をお寄せください。

お知らせ

Information

秋の交通安全県民運動の実施

日没が早まる秋は、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多発する傾向にあります。町民一人ひとりが交通ルールを守り交通マナーの実践を習慣づけ、交通事故防止に努めましょう。

◆実施期間／9月21日～30日

◆運動の重点

- ◎夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
- ◎全座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ◎飲酒運転の根絶
- ◎道路横断時・交差点における交通事故防止

ハートフルメールと交通安全の絵の展示

校外生活において行動範囲が広くなり始める小学四年生の児童が、祖父母などの身近な高齢者宛にハートフルメール（交通安全メッセージ）を、来年度小学校入学予定の年長児

が交通安全の絵を作成しました。次のとおり、作品を展示中ですので、ご家族みなさんでぜひご覧ください。

◆ふれあい会館／9月1日～20日

◆中央公民館／9月21日～30日

※お問い合わせは、大江町交通安全対策協議会(総務課危機管理係) ☎(62) 2187まで

スモモの収穫体験inおおえ♡

出逢いのボランティアコン(第2回)参加者募集!

恋より甘い新品種スモモの収穫ボランティアを通して自然な出逢いを見つけてみませんか。

◆期日／9月29日(日) 10時～

◆内容／青苧糸を使用したストラップ作り体験、大山自然公園で焼肉と芋煮で昼食、町内果樹園にてスモモ収穫作業のお手伝い、新品種スモモの試食とスモモジュースの試飲

◆募集対象者／

・村山地域に住む20歳代～40歳代の独身男性15名

・20歳代～40歳代の独身女性15名 (居住地は問いません)

◆参加費／男性3500円 女性2500円 ※女性限定お友達と2人で申し込むと500円引

◆申込期限／9月17日(火)

※申込用紙は政策推進課または山形

県庁Pからダウンロードできます。

※お申し込み・お問い合わせは、NPO法人元気netかほく ☎(73) 5280、FAX(73) 5281まで

10月1日に住宅・土地統計調査がおこなわれます

この調査は住宅・土地に関する最も基本的な調査で、国や県・町が住生活基本計画やまちづくり施策などを立案するための大切な資料となります。

対象となる世帯には、9月下旬から県知事が任命した調査員が調査票を持っておうかがいしますので、調査票への記入をお願いいたします。なお、調査内容は統計を作成するためのみに使用するもので、その他の目的には一切使用しません。安心してありのままをご記入ください。

※お問い合わせは、総務課情報システム係 ☎(62) 2187まで

大江町総合防災訓練のお知らせ

◆日時／10月6日(日) 8時50分～

◆場所／左沢小学校およびその周辺

◆対象区域／1区～13区、螢水

◆内容／避難誘導訓練、初期消火訓練、炊き出し訓練、応急手当訓練他

輝いて今

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々に紹介します。

第32回山形県クラブ卓球選手権大会
男子団体一般1部優勝 大江クラブ
クラブ選手 公平貴広さん(小漆川)

菊地育心さん(深 沢)
渡辺拓也さん(12 区)

5月19日に開催された、第32回山形県クラブ卓球選手権大会の男子団体一般1部において大江クラブが優勝しました。今後は9月13日から16日に福島市国体記念体育館で開催される、第32回全日本クラブ卓球選手権大会に出場する予定です。

平成25年度

山形県社会人卓球選手権大会

男子シングルス 準優勝

男子ダブルス 準優勝

公平貴広さん(小漆川)

6月30日に開催された、平成25年度山形県社会人卓球選手権大会の男子シングルスにおいて大江クラブの公平貴広さんが準優勝に、社会人男子ダブルスにおいて公平貴広さん・佐藤文哉さん(山形市)ペアが準優勝に輝きました。

また、2人は9月6日から8日に群馬県総合スポーツセンターで開催された、第47回全日本社会人卓球選手権大会に出場し活躍されました。

大江の秋まつり開催



各地区に大切に受け継がれてきた伝統芸能や神輿が町内を練り歩きます。また、JR左沢駅前では下記の日程でパレードも開催されますので、ぜひおこし下さい。

◆期日/9月15日(日)

◆パレード場所/

JR左沢駅前広場

※お問い合わせは、大江

町観光物産協会事務局

☎(62)2139まで

出演団体	時間
MOVERヒップホップダンス	11:20
深沢獅子踊	11:30
七区囃屋台	11:45
三区左沢獅子踊	12:05
九区尚和会神輿	12:20
おかみさんソーラン愛好会	12:20
御免町囃子座	12:35
八幡神社神輿(柏風会)	13:00
左澤八区女相撲甚句	13:15

◆日時/10月26日(土) 13時~19時30分

◆彩る秋の大江で濃い恋♪
大江町コン2013参加者募集

※訓練当日は、県消防防災ヘリ「もがみ」が左沢小学校上空で救助救出訓練をおこないます。小学校周辺にお住いの方は、洗濯物など風で飛ばされやすい物を屋内に退避させるなどご協力をお願いします。

※お問い合わせは、総務課危機管理係 ☎(62)2187まで

- ◆場所/大江町内果樹園、柳川温泉
- ◆内容/あま〜いスモモ「ラブリイ」のもぎ取り・オリジナルカクテル作り、新米で作ったおにぎりで芋煮会・柳川温泉入浴券付き
- ◆募集対象者/
 - ・大江町内の独身男性20名
 - ・20歳代~40歳代の独身女性20名(居住地問わず)
- ◆参加費/男性3000円、女性2000円
- ◆申込期限/9月30日(月)
- ◆企画・主催/さがえ西村山農業協同組合青年部大江支部

大人の書道あそびま書 平成25年作品展開催

※お申し込み・お問い合わせは、政策推進課 ☎(62)2118、FAX(62)4736まで

ゆかいな仲間、こころ優しい仲間たちが今年一年に書いた作品をたくさん展示します。ぜひご覧ください。

※「こども展」も併せて開催。

◆期日/10月25日(金)~28日(月)

◆場所/山形市中央公民館ギャラリー(アズ七日町)

第52回山形県少年の主張大会開催

いま伝えたい私のメッセージと題して、山形県少年の主張大会が開催されます。未来の社会を担う中学生の熱い思いを聞ける絶好の機会です。ぜひお越しください。

◆日時/9月23日(月) 13時開会

◆場所/山形ビッグウイング2階大会議室

◆出場者/県内各地区の予選大会を勝ち抜いた中学生16名

◆入場料/無料

※お問い合わせは、公益社団法人山形県防犯協会連合会 ☎023-624-3800まで

税務研修会の開催

◆日時/9月27日(金) 15時30分

◆会場/寒河江市技術交流プラザ

◆内容/会社の永遠はスムーズな承継から「同族会社の事業承継対策」

◆講師/会計税理士柴田律子氏

※お問い合わせは、寒河江法人会 ☎(86)1245まで



今 回の特集は7月18日、22日の豪雨災害時に私が疑問に思ったことがきっかけです。雨が降らないことによる断水は想像がつくのですが、大雨でなぜ断水が起こったのか理解できなかったからです。特集を書くにあたって、飲料水の歴史について調べていくと何故か四大河文明にまでさかのぼりました(学生以来久しぶりの復習です)。その中で、人類の歴史は戦争やエネルギー、思想などさまざまな側面から見ることができそうですが、いかにきれいな水を大量に確保するかの歴史でもあることを知りました。編集を終え、先人たちの努力の結晶である水道水を飲むと、改めて「これですごくいいことだ」と感じます。(山家雄志)



おおい色彩魚拓愛好会「メバル」 鈴木芳子

リレー随想／ 《第75回》

およげ!! たいやきくん

「毎日、毎日僕は鉄板の上で焼かれて嫌になっちゃうよ」何十年前に流行した歌だったかしら？私が今職業にしているたい焼きの歌です。たかがたい焼き、されどたい焼き、このたい焼きからいろんな事を教わっています。ここでは、たい焼き屋を始めたい理由を書きたいと思います。私は幼い頃から「あんこ」が大好きで、中でも上山と肘折の饅頭は大好物でした。風邪をひいて熱があり食欲がない時でも、饅頭を5個一気に食べる事ができましたし、それで風邪を治したこともありました。また、一人目の子を妊娠した時、つわりが

ひどく何も食べたくなかったけれど、唯一あんこがたっぷり入ったたい焼きが食べたくて仕方なかったことも覚えています。

酒屋に嫁いで25年、当初は店が古くて昔の家のなんとも言えない匂い、暗くて寒くて不便だし嫌だった。「いやあく大誤算!!」と思ったものでもあまりに近所から嫁いだし、逆に戻るに戻れない…。波風はあったけどふんばりました。

娘たちも成長し、とりあえず一安心になった頃、自分を見つめ将来を考えてみました。すると自然にたい焼きが食べたかったあの頃を思い出しました。

『やっぱり「あんこ」が好きだ』これをきつかけに、酒屋の一角にたい焼き屋を設けることを決意しました。これには、酒だけが目的じゃない、沢山の方に訪れてもらえる店にしたいという思いもありました。

心強いことに、あんこが好きな私には、和菓子屋を営んでいる叔父がいたので一から教えてもらえたい、その頃、起業の後押しをしてくれるモデル事業企画もあり、なんとか今に繋がっていききました。

たい焼き屋をはじめると不思議なこと、あれほど嫌だった店の雰囲気、私が焼いている一丁型焼きと一致してしまい、また酒屋でたい焼きという話題性から多方面より取り上げていただきました。今で

は店内は甘い香りが漂い、お客様からは、店の雰囲気にも感動してもらえ、『美味しい』とも言ってもらえ、幸せを感じています。それと同時に店をけなして申し訳ないと思省もしています。

今は敷地裏に建てた現代的な自宅と築77年になる町屋作りの店の両方を味わっています（せいたくなことですね）。太い柱、高い天井、長い廊下、程よい暗さ…。何だか守られている感じに捉われ、店は心落ち着く場所になりました。一角には左沢大火前の店の絵が飾られており、当時の店を覗いてみたいと思つ時もあります。

私は生まれも、育ちも、嫁ぎ先も、この商店街。娘が幼い頃『お母さんの実家近くてつまらない』といわれたけど、私にとっては母からいろいろな場面で助けてもらえてありがたかったです。家族の協力と今まで出逢った方々に感謝し、これからももてなしの心で沢山の笑顔に会える様に、たい焼きを続けていきたいと思ひます。

商店街は町全体のバロメーター。どの店も地元に合せたもてなしの心で頑張っています。街の灯を消さない様にどんな形になっても繋いでいくことが大事だと思います。先代から受け継いだこの店のバトンを繋ぐまで、この商店街と共に、およげ!! たいやきくん!!

(7区 林 久美子)

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
みなみ	伊藤 翠	女	巨樹・恵美
小見	庄司 那	女	武・静香
藤田	渡邊 夏	女	俊昭・直子
9区	鈴木 一	男	伸一・由華

ご結婚おめでとう

区名	出身地名	氏名
13区	佐藤	研
山形市	飛塚	奈美
小見	春日	美斗
天童市	山口	秋

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
12区	井上 茂雄	(81)
堂屋敷	大泉 一男	(89)
9区	松田 秀子	(85)
貫見	松田喜智弥	(81)
柳川平	大場美紀子	(74)
藤田	清野タマエ	(86)
上北山	林 よしゑ	(92)
萩野	相澤 喜六	(98)
貫見	稲村ちを	(88)

人口と世帯(前月比)

町の人口	9,026人(-20)
男	4,433人(-7)
女	4,593人(-13)
世帯数	2,911戸(-8)

平成25年9月1日現在

戸籍の まど

7月21日～8月20日受付分

